



こぶしの花皿

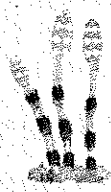
逗子市立沼間中学校
平成28年4月8日

第1号

教科書の詩

めがさめた

工藤 直子



どうしたの？ 山
うす緑のようふくが
ふるふる ゆれてるよ
おおい山よ！
なに ふるふるしてるの？
だってね くつくく

雪どけみずが
ちよろちよろしてさ
りすは もこもこするしさ
かえるは ごそごそ
のねずみ がささそ
みんち めがさめて
あちこち うろちよろ
くつくく まらん！
ひゃくは ははは！
あーっ ははは！
山がわらって 春がきた

小 4

新年度のスタートです

4月5日(火)の着任式・始業式・入学式を終えて、平成28年度がスタート致しました。

校長の奥村と申します。本校3年目の春を迎えました。どうぞよろしくお願いいたします。

初年度からこの「校長通信」を月2回のペースで出しております。今年度も題名は「こぶしの花皿」として、過去2年と同様、この校長通信を発行して参ります。

新年度、新たにお迎えした先生方は4名です。

- ◎ 関 忠子 教頭先生(久木中から)
- ◎ 町田 佳代 先生(逗子中学校から)英語
- ◎ 中野 正隆 先生(鎌倉市立深沢小学校から)音楽・特別支援学級
- ◎ 荒川 葵智子 先生(久木中学校から)理科

そして、去られた先生方が5名です。

- ◎ 鹿嶋 邦彦 教頭先生(久木中学校へ)
- ◎ 吉田 裕予 先生(逗子中学校へ)
- ◎ 根津 準一郎 先生(横浜の中学校で図書館指導員のお仕事をされます)

◎ 綾部 健太 先生(久木中学校へ)

◎ 松平 涼子 先生(県立武山養護学校へ)

4月6日には離任式が行われ、去られた先生方との名残惜しい時間を過ごしました。

また、新1年生は75名の2クラスなのですが、「少人数学級の研究」を県に申請し、3クラスでスタートしています。1クラス25人です。「中1ギャップ」という言葉もありますが、なれない中学校生活を少ない人数のクラスでスタートさせます。そのかわり1年生の少人数・TTは英語のみです。

2・3年生は数学と英語のすべてと2年生の理科で週2時間、3年生の保健体育で週2時間を少人数・TTで行います。

2頁以降に、本校「グランドデザイン」「グランドデザイン用語の解説」「困ったときの相談経路」をつけました。ご活用下さい。

また、本校ホームページが見られるようになりました(一部IDとパスワードが必要です)。

ID:jnmembers パスワード:098765

★ 返子市立沼間中学校グランドデザイン

憲法・教育基本法・学校教育法

かながわ教育ビジョン・返子市総合計画・返子市社会教育推進プラン・返子市学校教育総合プラン

学力教育目標 個 心 力

目指す生徒像

- ◎大人になるための5つの自立を目指す生徒の育成
- ◎将来を見据えて、21世紀を豊かに生き抜くために必要な力＝キーコンピテンシーを身につけた生徒の育成

学校の中期計画

- ①生徒の問題行動を予防する、授業づくりと学級・学年・学校づくり
- ②教育相談体制（心、学習、健康）及び校内支援体制の確立と充実
- ③学校改善につなげる学校評価の推進
- ④教職員の指導力向上と組織で対応する学校の構築

【生きる力＝確かな学力、豊かな人間性、健康・体力】

【5つの自立とコンピテンシー】

学校の教育活動

【各教科】【道徳】【総合】【特活】

input → intake → output
Active Learning

【沼中 Learning】

- 市民性教育
- キャリア教育
- 環境教育、情報教育
福祉教育、国際教育
人権教育等

【トレジャースチューデント】

【部活動】

支援教育
個に応じた指導
授業のユニバーサル化

- 【主に1年】 ①生活的自立
②経済的自立 ③身体的自立
○言語、シンボル、テキストを活用する能力
○知識や情報を活用する能力
○テクノロジーを活用する能力
○身体を自由に操る能力
○健康に留意し、体力をつける工夫と努力する能力

- 【主に2年】 ④社会的自立
○自己肯定感を持つ生徒
○他者と円滑に人間関係を構築する能力
○他者と協調する能力
○利害の対立を御し、解決する能力

- 【主に3年】 精神的自立
○大局的に行動する能力
○人生設計や個人の計画を作り、実行する能力
○権利、利害、責任、限界、ニーズを表明する能力
○メタ認知能力を身につけ、思慮深い思考と行動ができる能力

地域・家庭との連携

【家庭との連携】

- P & Tの活動

- 花いっぱい運動

【地域との連携】

- 学校地域支援本部
- 地域教育協議会・評議員
- ボランティア学習部

【外部機関との連携】

- 小・中・高の連携
(沼間小・逗葉高校)
- 委員会、研究所等関係機関

連携・協働

発信からPRへ

教職員の行動指針

- ①子どもたちの良さを認めて伸ばす教職員
- ②子どもたちに示す課題を自らの課題とできる教職員
- ③ありのままを受け入れ、そこから出発する教職員
- ④扶け合い、仲間を大切にする教職員
- ⑤バランスのとれた思考・行動ができる教職員

学校の重点目標

- ①個に応じた指導の充実
基礎学力定着のための少人数授業・補充学習、いじめ・不登校への対応
- ②支援教育
個別の支援と授業のユニバーサル化の推進
- ③沼中ラーニング（キャリア教育・市民性教育）の推進
総合的な学習の時間を中心に、全学年で
- ④発信からPRへ（信頼される沼間中学校づくり）
HPの充実、メール配信、学校だより、校長通信、懇談会
- ⑤家庭・地域との連携・協働
学校支援地域本部の推進、健やかな心身の育成（家庭での生活習慣確立）

本校のグランドデザイン 用語の解説について

逗子市立沼間中学校

- ◎ グランドデザイン：文部科学省では「将来構想」と訳しています。
- ◎ 生きる力：○基礎・基本を確実に身に付け、いかに社会が変化しようと、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力 ○自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性 ○たくましく生きるための健康や体力 などを指します。
- ◎ キャリア教育：「児童・生徒が自らの人生を歩む上で、体験的な活動などを通して、働くことの意義など望ましい職業観や勤労観を育み、また職業に関する知識や技能を身に付けるとともに、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育成する教育である。（神奈川県「キャリア教育推進ハンドブック」より）
- ◎ 市民性教育：「子どもたちが、参加型民主主義を理解・実践するために必要な知識・スキル・価値観を身につけ、行動的な市民となること」を意味し、「コミュニティとの関わり」の育成、「社会的・倫理的責任」の育成、「ポリティカル・リテラシー」の育成という三つのキーワードを意図しながら、進めていくことが必要である。（『学校における、シチズンシップと民主主義教育のための教育：シチズンシップについての諮問委員会最終答申』（1998年9月）本校では特に、生活の場としての「逗子」を中心に考えます。
- ◎ 沼中 learning：市民性教育とキャリア教育を統合した体験的学習であり、本校のミッション（使命）である「大人にする」を具体化するための学習です。
- ◎ コンピテンシー：「コンピテンシー（能力）」とは、単なる知識や技能だけではなく、技能や態度を含む様々な心理的・社会的なリソースを活用して、特定の文脈の中で複雑な要求（課題）に対応することができる力のことです。
- ◎ キー・コンピテンシー：本校の「目指す生徒像」は、このキー・コンピテンシーであり、その定義は日常生活のあらゆる場面で必要なコンピテンシーをすべて列挙するのではなく、コンピテンシーの中で、特に、①人生の成功や社会の発展にとって有益、②さまざまな文脈の中でも重要な要求（課題）に対応するために必要、③特定の専門家ではなくすべての個人にとって重要、といった性質を持つとして選択されたものを指します。
- ◎ Input—Intake—Output：以前、横浜国大の高木展郎教授に教えていただいた授業の考え方。小学校では「聴いて、考えて、つなげる」としています。
- ◎ ユニバーサル教育：ユニバーサルとは、「普遍的な、全体の」という意味で、「すべての人のための教育」を意味し、学校教育では特に「障がいの有無にかかわらず、すべての子どもにわかりやすい教育」を指しています。
- ◎ アクティブラーニング（Active Learning）：横浜国大の高木展郎教授は「主体的・能動的（Active）で双方向的性（Interactivity）のある、自律的かつ協働的な学びである。」と定義しています。

沼間中 困ったときの相談経路図

